

## 新春泳ぎ初め

1月1日、元旦の恒例行事、新春泳ぎ初めが川内川宮都大橋上流で行われました。

今年で54回目を迎えた泳ぎ初め。小学生から一般まで、約100人が参加し、水温11度の川内川に元気よく飛び込み、約100メートルを泳ぎました。

泳ぎ終わった参加者には、「温かい「ぜんざい」が振る舞われ、参加者は冷えた体を温めていました。

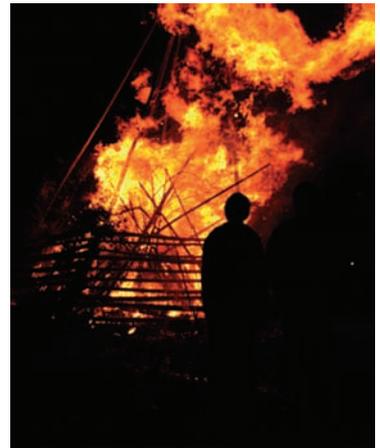


水温11度の川内川を泳ぐ参加者



振る舞われた「ぜんざい」で冷えた体を温める参加者

鶴田地区での鬼火焚き



船木西公民会での鬼火焚き

## 無病息災を願う鬼火焚き

1月7日、各地域で、鬼火焚きが行われました。

孟宗竹などを利用して組み上げられたやぐらに火をつけて、その年飾った門松やしめ飾りを焼く鬼火焚き。竹の弾ける「パンパン」と大きな音が鬼を追い払うと言ひ伝えられています。勢いよく燃え上がるやぐらを囲んだ多くの方が、無病息災を願いました。

## 青色パトロール車出発式

1月10日、宮之城建設会館で、県建設業協会宮之城支部（白川田廣八支部長）が自主的に発足した青色パトロール隊の青色パトロール車出発式が行われました。

青パト車は7台で、運転中は全会員、帽子と腕章を着用。子ども達を事件や犯罪から守るため、毎週火曜日と木曜日の午後5時から午後6時の間、ことも（QQ）SOSのステッカーを貼った青パト車が、青色回転灯をまわし、町内全域を巡回します。

白川田支部長は「事件や犯罪から地域の子ども達を守り、地域の安心・安全の確保のため、一翼を担いたい。各種団体や異業種を含めて、リレー式で一日中、青パト車による防犯活動が展開していくことを望みたい。青パト隊発足が町内でパトロール車の増えるきっかけとなれば」と話されました。



榎園さつま警察署長(左)から防犯活動委任状の交付を受ける白川田支部長(右)

## 五穀豊穣を祈り「もぐら打ち！」

1月14日、神子地区の高嶺公民会で毎年恒例の「もぐら打ち」が行われました。

もぐら打ちは農作物を荒らすもぐらを追い払い五穀豊穣を祈るといふ伝統行事で、高嶺公民会では子ども会育成会が中心となつて、毎年この日に行われています。

参加した11人の子ども達は約1時間30分かけて集落内の各家の庭先を元気に歌いながら叩いてまわりました。

子ども会育成会の岩元昭裕会長は「年々子どもが少なくなつて継続が難しくなっているが、みんなで協力して続けていきたい」と話されました。



五穀豊穣を祈りもぐら打ちをする子ども達